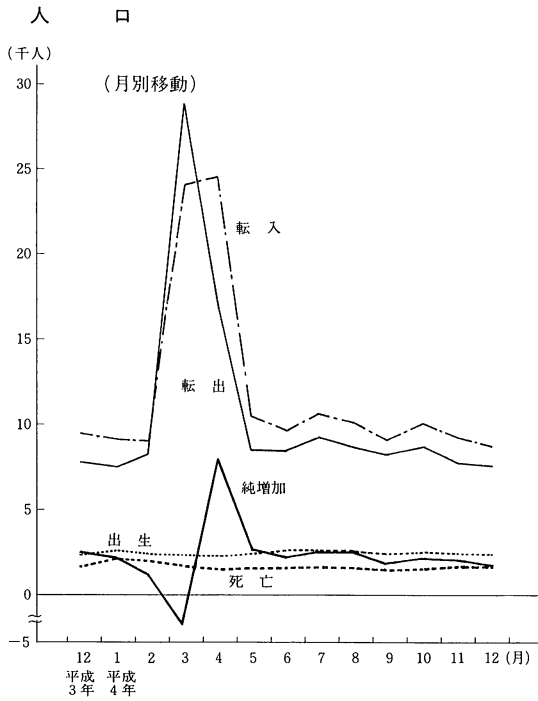
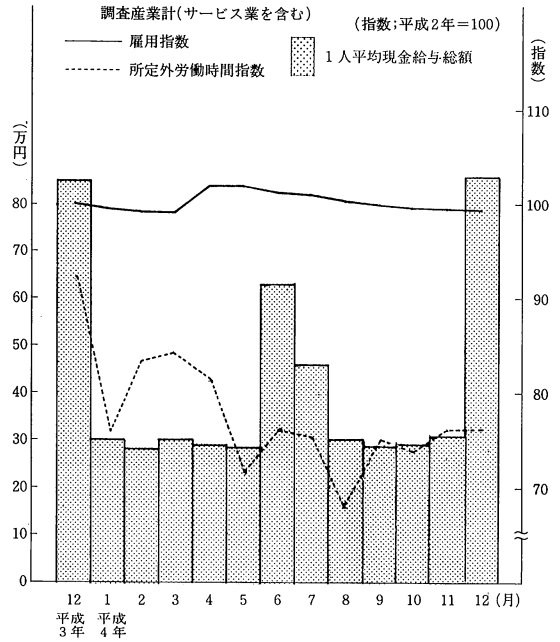


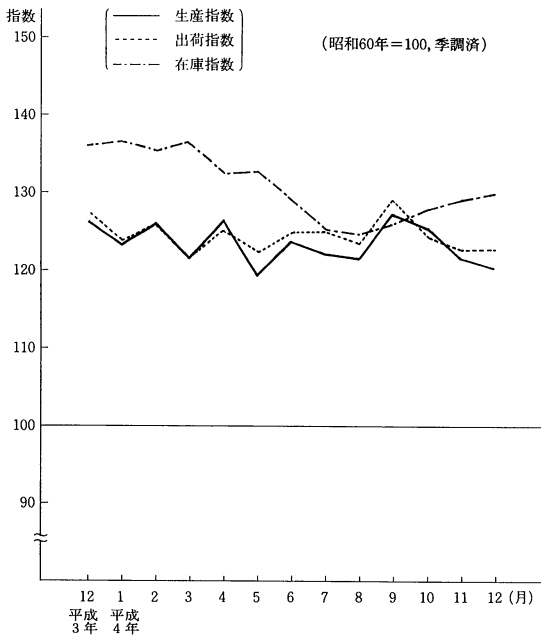
今月の主な動き



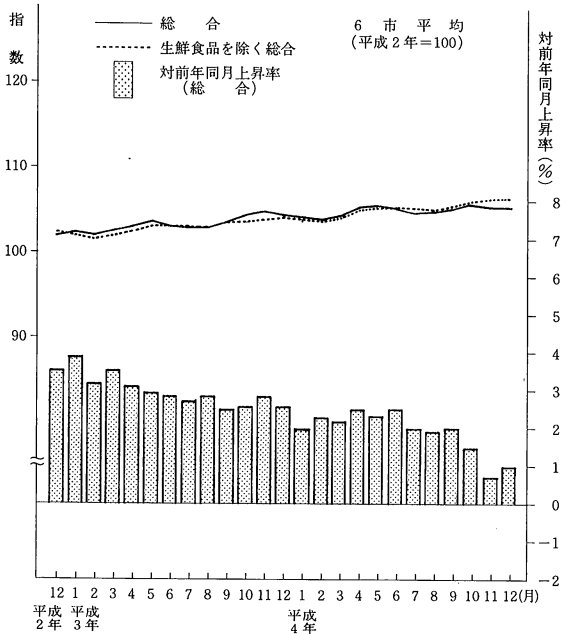
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(1月1日)

本県の人口は、12月中に1,777人増加し、1月1日現在で2,910,484人(男1,453,863人、女1,456,621人)となった。

内訳は、自然動態で574人(出生2,313人、死亡1,739人)増加し、社会動態で1,203人(転入8,910人、転出7,707人)増加した。前年同月と比べると25,428人(0.88%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が12市39町村、減少が6市26町村、増減なしが2市2町村である。

世帯数についても12月中に968世帯増加し879,838世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で861,696円、対前年同月比1.2%増、このうち、きまって支給する給与は291,246円、対前年同月比2.3%増であった。また、このうち、所定内給与は264,287円、対前年同月比4.0%増であり、超過労働給与は26,959円、対前年同月比11.6%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.7%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で165.5時間、対前年同月比4.3%減であった。このうち、所定内労働時間は150.6時間、対前年同月比2.8%減、所定外労働時間は14.9時間、対前年同月比16.8%減であった。

3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.5%減であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(12月分)

本県における平成4年12月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が120.6、出荷が123.3、在庫が130.3で、前月比は、生産が△0.9%の低下、出荷が0.2%の上昇、在庫が0.7%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△4.6%の低下、出荷が△3.6%の低下、在庫が△4.5%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、非鉄金属工業、化学工業、金属製品工業等が低下した。

出荷では、鉱業、電気機械工業、輸送機械工業等が上昇

し、石油・石炭製品工業、繊維工業、非鉄金属工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、鉱業、精密機械工業、金属製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、資本財が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。出荷では、資本財が上昇し、耐久消費財、その他生産財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、建設財が上昇し、耐久消費財、その他生産財等が低下した。

■消費者物価指数(12月)

平成4年12月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.4(平成2年=100)となり、前月比0.1%の下落、前年同月比1.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……乳卵類3.1%、菓子類1.2%、他の光熱1.2%、飲料1.1%、衣料1.0%

今月の下がった主な項目……果物7.4%、油脂・調味料1.7%、シャツ・下着1.5%、医薬品1.4%、野菜・海藻1.3%

生鮮食品を除く総合は106.5となり、前月比は0.1%の上

昇、前年同月比は2.2%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.4	△0.1	1.0	保健医療	101.9	△0.6	2.1
食 料	103.6	△0.3	△2.1	交通通信	100.4	0.1	△0.2
住 居	110.8	0.0	5.2	教 育	106.1	0.0	3.4
光熱・水道	103.0	0.1	0.7	教養娯楽	108.3	0.5	3.4
家具・家事用品	100.4	△0.8	△0.5	諸 雑 費	103.7	0.2	1.6
被服及び履物	112.7	0.2	2.4	生鮮食品を除く総合	106.5	0.1	2.2